

令和 5 年度

(2023 年度)

決 算 審 査 意 見 書

士別地方消防事務組合会計

士別地方消防事務組合監査委員

士 消 監 第 25 号

令和 6 (2024) 年 12 月 6 日

士別地方消防事務組合

管理者 渡 辺 英 次 様

士別地方消防事務組合

監査委員 浅 利 知 充

監査委員 中 原 浩 一

令和 5 年度士別地方消防事務組合会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 5 年度士別地方消防事務
組合会計歳入歳出決算について審査したので、別紙のとおりその意見を提出します。

目 次

《決算審査意見》

1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の方法	1
4 審査の結果及び意見	1

《決算収支状況》

1 決算の概要	2
2 歳 入	3
第1款 分担金及び負担金	4
第2款 使用料及び手数料	4
第3款 財産収入	5
第4款 寄附金	5
第5款 繰越金	5
第6款 諸収入	6
3 歳 出	7
第1款 議会費	8
第2款 総務費	8
第3款 消防費	9
第4款 予備費	10

《財産に関する調書》	11
------------	----

(注)

- 1 文中に用いる金額は、原則として万円単位で表示しており、万円未満を切り捨てています。
- 2 各表中に用いる金額は、円単位で表示しています。
- 3 文中及び各表中の比率(%)は、少数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- 4 文中及び各表中の比率(%)の比較は、ポイントで表しています。
- 5 各表中の数値等の用法は、次のとおりです。
「0.0」：「該当数値はあるが、0.05未満のもの」を表しています。
「－」：「該当数値なし」及び「算出不能または無意味なもの」を表しています。
「皆増」：比較増減で、「全数増加したもの」を表しています。
「皆減」：比較増減で、「全数減少したもの」を表しています。
「△」：比較増減での「減」を表しています。
- 6 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値と、その内訳の合計値とは、一致しない場合があります。

《決算審査意見》

1 審査の対象

令和5年度 土別地方消防事務組合会計歳入歳出決算

2 審査の期間

令和6年9月10日から令和6年12月5日まで

3 審査の方法

土別地方消防事務組合の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等について、関係法令に準拠して調製または作成されているか、計数は正確か、予算執行・事務処理は適正か等に主眼をおいて審査しました。

また、関係部署に資料等の提出を求め、必要に応じ説明を受けて審査の参考としたほか、現金残高の確認、諸証票書類の検証については、別に法の定めるところにより実施している例月現金出納検査の結果を踏まえて審査をしました。

4 審査の結果及び意見

歳入歳出決算書、同事項別明細書及び実質収支に関する調書については、法令の様式を備え、表示された計数は正確であり、予算の執行状況についても諸帳簿と照合した結果、適正であると認めました。

財産の記録管理についても、関係諸帳簿と照合確認の結果、正確であり適正に処理されていると認めました。

歳入歳出決算及び予算執行等の状況については、次のとおりです。

《決算収支状況》

1 決算の概要

令和5年度の決算状況は〔表1〕のとおりで、歳入総額は10億5,521万円（予算現額に対する収入率は96.6%）、歳出総額は10億5,129万円（予算現額に対する執行率は96.2%）、歳入歳出差引額は392万円で、翌年度へ繰り越すべき財源がないため実質収支額は392万円となり、この剰余金を全額、令和6年度に繰り越しています。

〔表1〕 決算の概要

（単位：円、％、ポイント）

区 分	予算現額	歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出 差引 ③ (①-②)	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実 質 収支額 (③-④)
		収入済額 ①	収入率	支出済額 ②	執行率			
令 和 5 年 度	1,092,633,000	1,055,218,279	96.6	1,051,290,648	96.2	3,927,631	0	3,927,631
令 和 4 年 度	1,151,416,000	1,002,726,195	87.1	998,543,401	86.7	4,182,794	0	4,182,794
比 較 増 減	△ 58,783,000	52,492,084	9.5	52,747,247	9.5	△ 255,163	0	△ 255,163

歳入及び歳出決算額は〔表2〕のとおりで、前年度と比べ、歳入では5,249万円（5.2%）、歳出では5,274万円（5.3%）の増額となり、収支差引額は前年度より25万円（6.1%）の減額となっています。

〔表2〕 決算の年度別推移

（単位：円、％）

区 分	令和5年度	令和4年度	対前年度増減	
	金 額 ①	金 額 ②	金 額 (①-②)	増減率
歳 入 決 算 額	1,055,218,279	1,002,726,195	52,492,084	5.2
歳 出 決 算 額	1,051,290,648	998,543,401	52,747,247	5.3
収 支 差 引 額	3,927,631	4,182,794	△ 255,163	△ 6.1

〈参考〉 予算現額の状況

（単位：円）

区 分	予算現額	当初予算	補正予算 (第1号)	補正予算 (第2号)	補正予算 (第3号)	令和4年度 繰 越 額
令和5年度	1,092,633,000	1,012,138,000	1,914,000	△ 6,175,000	△ 13,682,000	98,438,000

2 歳 入

歳入決算の科目別収入状況は〔表 3〕のとおりで、分担金及び負担金が 10 億 4,282 万円（構成比 98.8%）、諸収入が 656 万円（構成比 0.6%）、繰越金が 418 万円（構成比 0.4%）、財産収入が 88 万円（構成比 0.1%）、寄附金が 50 万円（構成比 0.0%）、使用料及び手数料が 25 万円（構成比 0.0%）となっています。

〔表 3〕科目別収入状況

（単位：円、％）

区 分（款）	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収入率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	1,086,219,000	1,042,823,363	1,042,823,363	98.8	96.0	100.0
使用料及び手数料	100,000	256,000	256,000	0.0	256.0	100.0
財 産 収 入	640,000	889,009	889,009	0.1	138.9	100.0
寄 附 金	501,000	500,000	500,000	0.0	99.8	100.0
繰 越 金	4,000	4,182,794	4,182,794	0.4	104,569.9	100.0
諸 収 入	5,169,000	6,567,113	6,567,113	0.6	127.0	100.0
合 計	1,092,633,000	1,055,218,279	1,055,218,279	100.0	96.6	100.0

歳入の市町別内訳は〔表 4〕のとおりで、士別市が 6 億 4,857 万円（構成比 61.5%）、和寒町が 1 億 6,165 万円（構成比 15.3%）、剣淵町が 8,964 万円（構成比 8.5%）、幌加内町が 1 億 5,534 万円（構成比 14.7%）となっています。

〔表 4〕市町別歳入決算内訳

（単位：円、％）

区 分（款）	士別市	和寒町	剣淵町	幌加内町	合 計
分担金及び負担金	643,691,950	156,915,891	88,553,691	153,661,831	1,042,823,363
使用料及び手数料	122,880	48,640	46,080	38,400	256,000
財 産 収 入	250,009	0	0	639,000	889,009
寄 附 金	500,000	0	0	0	500,000
繰 越 金	1,330,138	1,082,425	1,018,611	751,620	4,182,794
諸 収 入	2,675,579	3,611,912	25,735	253,887	6,567,113
合 計	648,570,556	161,658,868	89,644,117	155,344,738	1,055,218,279
構 成 比	61.5	15.3	8.5	14.7	100.0

（士別市の分担金及び負担金に剣淵町救急業務負担金 17,000,000 円を含む。）

第1款 分担金及び負担金

収入状況は〔表5〕のとおりで、収入済額は前年度より6,588万円増の10億4,282万円となっています。

〔表5〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和5年度	1,086,219,000	1,042,823,363	1,042,823,363	96.0	100.0
令和4年度	1,131,062,000	976,935,397	976,935,397	86.4	100.0
比較増減	△44,843,000	65,887,966	65,887,966	9.6	-

構成市町の負担金の年度別収入状況は〔表6〕のとおりで、士別市が6億4,369万円（構成比61.7％）、和寒町が1億5,691万円（構成比15.0％）、剣淵町が8,855万円（構成比8.5％）、幌加内町が1億5,366万円（構成比14.7％）となっています。

〔表6〕年度別収入状況

(単位：円、％)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度増減	
	金額①	構成比	金額②	構成比	金額(①-②)	増減率
士 別 市	643,691,950	61.7	580,004,789	59.4	63,687,161	11.0
和 寒 町	156,915,891	15.0	155,760,839	15.9	1,155,052	0.7
剣 淵 町	88,553,691	8.5	83,198,662	8.5	5,355,029	6.4
幌 加 内 町	153,661,831	14.7	157,971,107	16.2	△4,309,276	△2.7
合 計	1,042,823,363	100.0	976,935,397	100.0	65,887,966	6.7

第2款 使用料及び手数料

収入状況は〔表7〕のとおりで、収入済額は前年度より16万円減の25万円で、その主な内容は、設置許可申請手数料、変更許可申請手数料、完成検査手数料などで、件数は前年度より1件減の24件となっています。

〔表7〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和5年度	100,000	256,000	256,000	256.0	100.0
令和4年度	100,000	416,950	416,950	417.0	100.0
比較増減	0	△160,950	△160,950	△161.0	-

第3款 財産収入

収入状況は〔表8〕のとおりで、収入済額は前年度より8万円増の88万円となっています。

〔表8〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和5年度	640,000	889,009	889,009	138.9	100.0
令和4年度	804,000	804,000	804,000	100.0	100.0
比較増減	△ 164,000	85,009	85,009	38.9	-

第4款 寄附金

収入状況は〔表9〕のとおりで、収入済額は前年度より50万円増の50万円となっています。

〔表9〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和5年度	501,000	500,000	500,000	99.8	100.0
令和4年度	1,000	0	0	-	-
比較増減	500,000	500,000	500,000	皆増	皆増

第5款 繰越金

収入状況は〔表10〕のとおりで、収入済額は前年度より2万円減の418万円となっています。

〔表10〕収入状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和5年度	4,000	4,182,794	4,182,794	104,569.9	100.0
令和4年度	4,000	4,208,340	4,208,340	105,208.5	100.0
比較増減	0	△ 25,546	△ 25,546	△ 638.6	-

※令和5年度収入済額の市町別内訳…士別市 1,330,138 円 和寒町 1,082,425 円

剣淵町 1,018,611 円 幌加内町 751,620 円

第6款 諸収入

収入状況は〔表 11〕のとおりで、収入済額は前年度より 35 万円増の 656 万円となっており、その主な内容は、高速自動車国道救急業務支弁金 534 万円（士別市 178 万円、和寒町 356 万円）などとなっています。

〔表 11〕 収入状況

（単位：円、％、ポイント）

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
令和 5 年 度	5,169,000	6,567,113	6,567,113	127.0	100.0
令和 4 年 度	5,297,000	6,213,508	6,213,508	117.3	100.0
比較増減	△ 128,000	353,605	353,605	9.7	－

3 歳 出

歳出決算の科目別支出状況は〔表 12〕のとおりで、支出済額は 10 億 5,129 万円（執行率 96.2%）で、その主な内容は、消防費が 9 億 4,773 万円（構成比 90.1%）、総務費が 1 億 322 万円（構成比 9.8%）などであり、不用額は 4,134 万円となっています。

〔表 12〕科目別支出状況

（単位：円、％）

区 分 (款)	予算現額	支出済額	構成比	翌年度 繰越額	不用額	執行率
議 会 費	362,000	336,350	0.0	0	25,650	92.9
総 務 費	109,857,000	103,223,600	9.8	0	6,633,400	94.0
消 防 費	982,314,000	947,730,698	90.1	0	34,583,302	96.5
予 備 費	100,000	0	－	0	100,000	－
公 債 費	0	0	－	0	0	－
合 計	1,092,633,000	1,051,290,648	100.0	0	41,342,352	96.2

科目別支出の年度別比較は〔表 13〕のとおりで、前年度より増加したものは、消防費で 4,737 万円（5.3%）増の 9 億 4,773 万円、総務費で 632 万円（6.5%）増の 1 億 322 万円などであり、減少したものは、公債費で 94 万円の減（皆減）などとなっています。また、節別の年度別比較は〔表 14〕のとおりです。

〔表 13〕歳出の年度別比較

（単位：円、％）

区 分	令和5年度	令和4年度	対前年度増減	
	金 額 ①	金 額 ②	金 額 (①－②)	増減率
議 会 費	336,350	338,241	△ 1,891	△ 0.6
総 務 費	103,223,600	96,902,163	6,321,437	6.5
消 防 費	947,730,698	900,353,555	47,377,143	5.3
予 備 費	0	0	0	－
公 債 費	0	949,442	△ 949,442	皆減
合 計	1,051,290,648	998,543,401	52,747,247	5.3

〔表 14〕支出済額の科目(節)別・年度別比較

（単位：円、％）

区 分 (節)	令和5年度		令和4年度		対前年度増減	
	金 額 ①	構成比	金 額 ②	構成比	金 額 (①－②)	増減率
1 報 酬	39,902,724	3.8	38,205,953	3.8	1,696,771	4.4
2 給 料	348,084,940	33.1	326,878,105	32.7	21,206,835	6.5
3 職 員 手 当 等	268,172,349	25.5	292,180,549	29.3	△ 24,008,200	△ 8.2
4 共 済 費	115,527,042	11.0	113,024,662	11.3	2,502,380	2.2
7 報 償 費	847,200	0.1	1,105,928	0.1	△ 258,728	△ 23.4
8 旅 費	5,117,600	0.5	4,660,955	0.5	456,645	9.8
9 交 際 費	306,744	0.0	494,258	0.0	△ 187,514	△ 37.9
10 需 用 費	62,637,749	6.0	61,427,537	6.2	1,210,212	2.0
11 役 務 費	19,748,763	1.9	19,263,810	1.9	484,953	2.5
12 委 託 料	34,669,004	3.3	35,072,285	3.5	△ 403,281	△ 1.1
13 使 用 料 及 び 賃 借 料	3,154,145	0.3	3,124,886	0.3	29,259	0.9
14 工 事 請 負 費	15,917,000	1.5	11,693,550	1.2	4,223,450	36.1
17 備 品 購 入 費	101,559,825	9.7	64,882,500	6.5	36,677,325	56.5
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	33,323,463	3.2	23,321,281	2.3	10,002,182	42.9
22 償 還 金 利 子 及 び 割 引 料	0	－	949,442	0.1	△ 949,442	皆減
26 公 課 費	2,322,100	0.2	2,257,700	0.2	64,400	2.9
合 計	1,051,290,648	100.0	998,543,401	100.0	52,747,247	5.3

第1款 議会費

組合議会の運営に要する経費であり、支出済額は〔表15〕のとおりで33万円となっています。

〔表15〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和5年度	362,000	336,350	25,650	92.9
令和4年度	358,000	338,241	19,759	94.5
比較増減	4,000	△1,891	5,891	△1.6

第2款 総務費

本部運営に要する経費であり、支出済額は〔表16〕のとおりで前年度より632万円増の1億322万円となっています。

前年度より増加した主なものは、総務管理費の一般管理費で工事請負費475万円などであり、減少した主なものは、総務管理費の一般管理費で職員手当等114万円などとなっています。

不用額は663万円で、その主なものは総務管理費の一般管理費で職員手当等310万円、需用費89万円、共済費49万円、使用料及び賃借料43万円、役務費38万円、旅費35万円などとなっています。

〔表16〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和5年度	109,857,000	103,223,600	6,633,400	94.0
令和4年度	101,766,000	96,902,163	4,863,837	95.2
比較増減	8,091,000	6,321,437	1,769,563	△1.2

第3款 消防費

消防署の運営に要する経費であり、支出済額は〔表 17〕のとおりで前年度より 4,737 万円増の 9 億 4,773 万円となっています。

前年度より増加した主なものは、士別消防費の消防施設費で水槽付消防ポンプ自動車購入に伴う備品購入費 4,691 万円、負担金補助及び交付金 1,032 万円、常備消防費で給料 1,677 万円、需用費 340 万円、非常備消防費で工事請負費 360 万円などであり、減少した主なものは、士別消防費の常備消防費で職員手当等 1,717 万円、非常備消防費で需用費 601 万円、消防施設費で工事請負費 451 万円、幌加内消防費の消防施設費で備品購入費 1,028 万円、和寒消防費の常備消防費で職員手当等 407 万円、剣淵消防費の消防施設費で工事請負費 320 万円などとなっています。

〔表 17〕 支出状況

(単位：円、％、ポイント)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
令和 5 年 度	982,314,000	947,730,698	34,583,302	96.5
令和 4 年 度	1,048,242,000	900,353,555	49,450,445	85.9
比較増減	△ 65,928,000	47,377,143	△ 14,867,143	10.6

消防費の項別内訳は〔表 18〕のとおりで、士別消防費は 5 億 9,638 万円（構成比 62.9％）、和寒消防費は 1 億 4,174 万円（構成比 15.0％）、剣淵消防費は 7,080 万円（構成比 7.5％）、幌加内消防費は 1 億 3,878 万円（構成比 14.6％）となっています。

不用額は 3,458 万円で、その主なものは、士別消防費の非常備消防費で報酬 588 万円、消防施設費で備品購入費 396 万円、負担金補助及び交付金 123 万円、常備消防費で共済費 389 万円、職員手当等 159 万円、幌加内消防費の非常備消防費で報酬 102 万円などとなっています。

〔表 18〕 消防費項別支出内訳

(単位：円、％)

区 分		予算現額	支出済額	構成比	翌年度繰越額	不用額	執行率
士 別 消 防 費	令和 5 年 度	619,520,000	596,388,329	62.9	0	23,131,671	96.3
	令和 4 年 度	679,311,000	542,015,556	60.2	98,438,000	38,857,444	79.8
和 寒 消 防 費	令和 5 年 度	146,487,000	141,748,616	15.0	0	4,738,384	96.8
	令和 4 年 度	148,062,000	144,081,448	16.0	0	3,980,552	97.3
剣 淵 消 防 費	令和 5 年 度	72,155,000	70,804,302	7.5	0	1,350,698	98.1
	令和 4 年 度	70,062,000	68,035,553	7.6	0	2,026,447	97.1
幌 加 内 消 防 費	令和 5 年 度	144,152,000	138,789,451	14.6	0	5,362,549	96.3
	令和 4 年 度	150,807,000	146,220,998	16.2	0	4,586,002	97.0
合 計	令和 5 年 度	982,314,000	947,730,698	100.0	0	34,583,302	96.5
	令和 4 年 度	1,048,242,000	900,353,555	100.0	98,438,000	49,450,445	85.9

〔表 19〕 消防職員数

(単位：人. %)

区 分	実 職 員 数		前年比較		条 例 定 数	
	令和5年度	令和4年度			令和5年度	令和4年度
	R5.4.1現在 ①	R4.4.1現在 ②	人数(①－②)	増減率	R5.4.1現在	R4.4.1現在
消 防 本 部	6	6	0	－	6	6
消 防 署	57	56	1	1.8	55	55
う ち 朝 日 支 所	5	5	0	－	－	－
う ち 再 任 用	3	3	0	－	－	－
和 寒 支 署	15	15	0	－	15	15
剣 淵 支 署	8	8	0	－	9	9
幌 加 内 支 署	14	15	△ 1	△ 6.7	15	15
う ち 再 任 用	1	1	0	－	－	－
合 計	100	100	0	－	100	100

※士別地方消防事務組合消防職員定数条例第 3 条の規定に基づき、再任用短時間勤務職員は職員定数外となっています。

※職員に係る経費については、消防本部は総務費、消防署及び各支署は各消防費から支出しています。

〔表 20〕 消防団員数

(単位：人. %)

区 分	実 団 員 数		前年比較		条 例 定 数	
	令和5年度	令和4年度			令和5年度	令和4年度
	R5.4.1現在 ①	R4.4.1現在 ②	人数(①－②)	増減率	R5.4.1現在	R4.4.1現在
士 別 市 消 防 団	190	189	1	0.5	212	212
和 寒 町 消 防 団	38	39	△ 1	△ 2.6	48	48
剣 淵 町 消 防 団	40	40	0	－	45	45
幌 加 内 町 消 防 団	47	50	△ 3	△ 6.0	56	56
合 計	315	318	△ 3	△ 0.9	361	361

※消防団員に係る経費については、各消防費から支出しています。

第 4 款 予備費

当初予算額 10 万円の予備費において充用はなく、全額未執行となっています。

〔表 21〕 支出状況

(単位：円. %, ポイント)

区 分	予算現額	充用額	不用額	執行率
令 和 5 年 度	100,000	0	100,000	－
令 和 4 年 度	100,000	0	100,000	－
比 較 増 減	0	0	0	－

《財産に関する調書》

1 公有財産

令和5年度中における公有財産の増減はなく、前年度と同じ6,047.51㎡となっています。

(1) 土地 市又は町有地のため、現在高はありません。

(2) 建物及び工作物

土別消防庁舎（鉄筋コンクリート造2階建）	1,578.69 ㎡
中央第一分団詰所（鉄骨造平家建）	159.87 ㎡
中士別分遣所（木造モルタル平家建）	174.15 ㎡
上士別分遣所（木造モルタル2階建）	171.41 ㎡
上士別分遣所職員住宅（木造モルタル2階建）	101.25 ㎡
上士別分団第3部詰所（鉄骨造平家建）	87.48 ㎡
多寄分遣所（セラミックブロック造平家建）	220.07 ㎡
温根別分遣所（補強セラミックブロック造平家建）	137.70 ㎡
温根別分遣所職員住宅（木造モルタル平家建）	58.32 ㎡
和寒支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部2階建）	679.97 ㎡
中和詰所（木造モルタル平家建）	89.10 ㎡
剣淵支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部3階建）	430.00 ㎡
朝日消防庁舎（鉄筋コンクリート造一部2階建）	592.11 ㎡
幌加内支署消防庁舎（鉄筋コンクリート造2階建）	952.31 ㎡
朱鞠内分遣所（鉄筋コンクリート造2階建）	273.35 ㎡
幌加内支署職員待機住宅1（プレキャストコンクリート造平屋建）	133.20 ㎡
幌加内支署職員待機住宅2（プレキャストコンクリート造平屋建）	133.20 ㎡
幌加内支署職員待機住宅3（木造ACL板造平屋建）	75.33 ㎡
合計	18 棟 6,047.51 ㎡

2 物品

重要物品（取得価格50万円以上）は、前年度末現在高は115点（うち車両46点）で、水槽付消防ポンプ自動車、高圧温水洗浄機の計2点を取得し、救急車搭載型患者監視装置、自動体外式除細動器、半自動体外式除細動器（2台）、水槽付消防ポンプ自動車、高圧温水洗浄機の計6点を更新のため廃棄した結果、年度末現在高は前年度と比較して4点減少の111点（うち車両46点）となっています。